

派遣留学報告書(1月分)

金沢工業大学 材料設計工学専攻

矢部 真樹

派遣留学も残すところ5ヶ月になりました。今月に入り、体感温度-20度の日々が続いております。髪の毛を濡らしたまま外にでるとあっという間に髪の毛が凍ってしまう寒さです。今月は新しい寮に引っ越し多くの出会いがありました。また春学期が始まり忙しい日々を過ごしています。今月の報告書では、今学期の履修登録状況と引っ越したばかりの寮について報告させていただきます。

春学期履修科目

今学期は計4教科、合計14時間を履修することに決定いたしました。履修科目は1/20から1/30日までの申請期間があります。多くの学生にとってこの10日間は実際に授業を受け履修する必要があるクラスなのかまた勉強しがいがあるクラスなのか判断できる期間となっています。私もこの制度を利用し、春学期の履修科目決定の参考にさせてもらいました。この制度は総合大学であるイリノイ大学であるからこそできる制度かもしれません。多くの授業が履修時にフレキシブルでない単科大学である金沢工業大学ではこの制度の導入は難しいかもしれません。この期間を通して感じたことはアメリカの大学では、学生自身に人生の選択肢の多さを任されているということです。以下に今学期履修する科目とその内容を示します。

ESL114	English as Second Language
MCB150	MOLECULAR AND CELLULAR BASIS OF LIFE
FR101	French
EALC15	Introductions to JAPANESE CULTURE

ESL114 (English as Second Language)

ESL114は、ESL113の延長上にある授業です。内容としては、Essayの書き方について学びWriting能力を向上させることを目的とした授業です。レベルは、先学期履修した授業よりUPしています。

MCB 150(MOLECULAR AND CELLULAR BASIS OF LIFE)

MCB150は、MATSE305というBiomaterialの授業の内容と同じ授業となっており、Biomaterialの必須科目となっています。内容としては、生体の細胞組織の基本構造を学べる授業です。授業としては、週3時間の講義と週1時間のDiscussionのセット授業となっています。

FR101 (French)

その名のとおりフランス語の授業です。英語以外の第二外国語としてこの授業を履修しました。当初は、韓国語・中国語の履修を考えたのですが、他の主要な授業と時間割が重なるということで以前から興味があったけれどとる機会がなかったフランス語を履修することにしました。授業は先生の教え方が非常にうまく、勉強が楽しいと思える授業です。

EALC 150(Introductions to JAPANESE CULTURE)

EALC 150 はその名の通り、日本文化の紹介です。日本では、私は高校生の時から理系の道を進んできたため歴史を授業で深く学ぶ機会がありませんでした。この授業を履修し1週間たちましたが、自国の歴史について無知であることに気がつかされます。この授業を通し、日本語を母国語としない学生達と意見を活発に交換していきたいと思えます。

大学院生寮から大学生寮への引越し

現在、**ISR Residence Hall**(大学生寮)に住んでいます。以前住んでいた **Daniel** (大学院生寮) よりは騒がしいのですが、以前より格段に **Native Speaker** とコミュニケーションを取る機会が増えました。フロア全体で毎日夕食をとるなど、**Daniel** ではなかった交流があります。いまは引越しをして正解だったと思います。現在のルームメイトは **2002** 年夏に金沢工業大学にイリノイ大学との交換留学プログラムでやってきたウンテイ・ソン君です。生まれは韓国ですが、いまはアメリカ国籍を取得してアメリカ人です。彼とは金沢で過ごした思い出を話し合ったりします。ルームやフロアメイトと活発に話しあう場所がここ **ISR** にあります。

今学期は時間の兼ね合いまた履修試行期間に授業を履修してから判断したため、11月の報告書で述べた履修予定科目より変更はあったものの満足はいく履修ができたと思います。また **ISR** に移ってから生活面において非常に満足した日々を送っております。5月までの派遣留学プログラム終了まで気を抜かずに勉学にはげみたいと思えます。

以上